

2016年 参議院議員選挙に向けた声明文

バブル経済崩壊以降、経済的に厳しい状況が日本社会では続いています。そして、その影響から家計収入が減少している一方で、大学の学費をはじめとした教育費が高騰し、若者の間で「格差と貧困」が広がり続けています。

その結果、全国の大学生の52.5%（2012年）が奨学金を利用して大学に通っているという現状があります。その借入額も増大しており、卒業後、奨学金返還のために生活苦に陥ってしまう学生も少なくありません。それに加え、多額の奨学金を借りることを避けるために進学を諦める学生や、現在社会問題化している「ブラックバイト」漬けになってしまう学生も存在します。このことは、学びを奨めるはずの奨学金制度が、本来の役割を果たしていない、ということを実に表しています。

以上のような問題を解決し、「だれもが学べる社会」を日本全体で作り出していくために、「給付型奨学金の導入」を2016年の参議院議員選挙の争点にすべきであると私たちは考えます。

現在、日本の公的な奨学金制度は日本学生支援機構が担っており、奨学金利用者の約80%が利用しています。しかし、その制度には「貸与型」しかなく、その多くが有利子型奨学金です。借入額によっては、卒業時に約800万円もの借金を背負うことになってしまいます。そのために、学生は何としてでも就職して、その借金を返済しようとしてしまう現状があります。

ただし、現在の就職状況も困難なものになり、労働状況も劣悪なものになっています。低賃金で不安定である非正規雇用労働者が急増し、ついに2014年11月にその数は2012万人と2000万人を超えてしまいました。これは、全体の労働者の38%を占めています。その影響から、正規に就職しようと都市部に若者が集中し、地方の人口減少に拍車がかかっています。しかし、その一方でたとえ正規雇用就職できたとしても、「年功賃金制度」や「ボーナス」がないという、周边的正規雇用労働者が増加しています。

このような厳しい状況のなかで奨学金を返還することは難しく、延滞者は大勢います。また、たとえ返還できたとしても、奨学金の返還は15年～20年間続くため、経済的負担により未婚化や少子化を深刻化させる要因になっています。このような現状をなくし、家庭の経済事情に左右されることなく「だれもが学べる社会」をつくっていくために、私たちは2012年9月に「愛知県 学費と奨学金を考える会」を結成し、政府に対して「給付型奨学金」の導入を求めてきました。

2014年に高校生対象の「高校生等奨学給付金」が導入され、大学生・短大生・専門学校生対象の「無利子」奨学金の増加が実現したものの、大学生・短大生・専門学校生対象の「給付型奨学金」の導入はいまだになされていません。また、現在政府では、「所得連動返還型奨学金制度」の導入に向けた動きが進められていますが、この制度は奨学金が貸与型

であるということが前提になっており抜本的な解決に繋がらないため、私たちは政府に対して「給付型奨学金」の導入を強く求めます。

「給付型奨学金」を導入することによって、あらゆる社会問題に対しての効果が期待されます。一つ目は、貧困問題による「教育の機会」の格差です。現在、子ども・若年層の貧困が深刻化し、子どもの貧困率が 16.3%まで達してしまっています。その影響は大学進学にも及び、お金がないことを理由に大学進学を諦めざるを得ない子どもが存在してしまっています。このことは、「教育の機会」の格差だけでなく、日本の技術力の低下も引き起こします。「給付型奨学金」を導入することで、経済的事情によって進学が困難になっている子どもの進学を可能にし、「教育の機会均等」を促進することができます。

二つ目は、未婚化や晩婚化による少子化問題です。人口減少は深刻化し、地方自治体によっては「自治体消滅」の可能性があります。そこで卒業後に返還が不要な「給付型奨学金」制度の導入は、若年層の経済的負担を軽減し、未婚化や少子化を食い止める可能性があります。すでに 2014 年から長野県、2015 年から富山市で給付型奨学金制度が導入されるなど、地方自治体レベルでの動きは各地で進んでいますが、日本社会全体の解決には至りません。

更に、今年の参院選は 18 歳選挙権導入後初めての選挙です。選挙に対する若年層の関心も高まっています。その中で、若年層に焦点を当てた争点を打ち出すことによって、更なる政治的関心の向上が期待できると考えます。性別や出生などのあらゆる格差を超えた、「誰もが学べる社会」を日本社会全体で作っていくために、中央政府レベルでの「給付型奨学金」制度の導入を、2016 年参議院議員選挙での争点にすることを私たちは強く求めます。

平成 28 年 3 月 8 日

愛知県 学費と奨学金を考える会

学生メンバー 一同